

令和7年度

犯罪被害者週間
(11月25日～12月1日)

一行詩

いのち 「生命のこえ」 コンテスト

令和6年度 最優秀作品

小学生の部

生きている人の声は
耳で聞こえる。
「亡くなった人の声は心の耳で聞くのよ」と、
おばあちゃんが教えてくれた。

森山 優希 (森永小6年)

中学生の部

祖父からの最後の手紙は
お年玉袋の一言。
ふるえる文字で「中学校がんばれ」
がんばるよ。
天国から見守ってね。

今田 晴千 (宮崎日大中1年)

高校生の部

小さい頃に
祖母に支えられながら歩いた道を
今は私が祖母を支えて歩く。
高く感じた肩も
今は並べて歩いている

戸高 由貴 (小林高1年)

一般の部

泣き声、話し声、笑い声。
家に帰ると家族皆の
いろんな声が聞こえてくる。
それはまるで生命が奏でる
オーケストラだ。

曾原 一心 (小林市)

テーマ 「^{とうと}尊^{いのち}い生命」～未来へ続く生命のこえ～

全国各地で、殺人、強盗などの凶悪犯罪や少年のいじめによる自殺など「人の命の尊さ」を軽視したような事件・事故などが後を絶ちません。今回、宮崎県内の小・中・高校生や、一般の方々から一行詩を募集し、これらの方々に、「人の命の尊さ」について考えていただき、犯罪の被害にあわれた方やそのご家族の辛くて悲しい想いを知っていただくことによって、これらの事件事故が一件でも減少することを祈るとともに、ひいては、安全で安心なまちづくりに寄与したいというものです。

※一行詩とは、短い詩のことです。一息で読める長さを一行として50字以内で表現してください。

募集期間 令和7年7月1日(火)～9月5日(金)

応募対象 宮崎県内在住の小・中・高校生、一般の方

応募方法 ハガキ・FAX・応募用紙にて受付、一人2作品までとし、自作で未発表のものに限ります。
住所・氏名(フリガナ)・年齢・職業(学校名・学年)・電話番号を明記してください。

発表 11月上旬。入賞者への連絡をもって発表とかえさせていただきます。
応募作品は、みやざき被害者支援センターに帰属するものとします。

表彰 令和7年11月30日(日) 宮崎市民プラザ オルブライトホール
「犯罪被害者支援フォーラム」において表彰式を行う予定です。

副賞 最優秀賞 5千円相当の賞品／各部門1名
優秀賞 3千円相当の賞品／各部門5名程度
入選 1千円相当の賞品／各部門7名程度
学校賞 1万円相当の賞品／小・中・高各学校1校

主催／(公社)みやざき被害者支援センター 共催／宮崎県警察
協賛／JA共済連宮崎 協力／宮崎県教育委員会
後援／宮崎県、宮崎県弁護士会、宮崎県公認心理師・臨床心理士会、
MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社

応募・お問い合わせ [みやざき被害者支援センター](#) [検索](#)
宮崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 みやざき被害者支援センター
〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号
TEL 0985-38-7831 FAX 0985-65-7831